

●入試名称 大 学 (問合せ先等)	学 部 (学群・学域)	学科-専攻 (学類)	募集人員	出 願 資 格				選 考 方 法		2016年度入試日程			備 考	2015年度入試結果			
				対象課程	出願時区分	現浪区分	成績基準	特定条件(取得資格・活動実績等) ・求める学生像等	C T 教科 科目	小論文・面接・その他 *提出書類(志願票以外)	出願期間	試験日	合格発表	合否判定評価法, 小論文・面接の内容, 新增設, その他	出願者数 (正・併)	合格者数	競争率
●AO入試 ●横濱AO入試 横浜国立大学 ＜教育人間科学部＞ ★入試係 ℡(045)339-3261 〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-2 要項：〒215円 テレメールで請求 出願：郵送のみ ＜理工学部＞ ★理工学系大学院等入試係 ℡(045)339-3821 〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5 要項：〒215円 テレメールで請求 出願：郵送のみ	教育人間科学	<AO入試> 学校<教科教育>	30	全	専	浪	×	学校教員になろうとする強い意欲を有する者 (注)教育人間科学部の求める学生像 =(1)社会の様々な矛盾と連動する教育の諸課題に強い関心や問題意識を持ち、自ら教育の場に身を置き、個々の子どもたちの成長を支えつつ、教育の未来を切り拓くことで社会に貢献し、自己実現を図りたい者、(2)現代の先端的な芸術・文化やサブカルチャーなどに広い関心や問題意識を持ち、種々のメディアを活用しつつ、自ら表現者として、あるいは公共の側から創造活動を支援する者として社会に貢献し、自己実現を図りたい者、(3)流動的で多元化する社会に深い関心や問題意識を持ち、外国語能力を含む高いコミュニケーション能力を身につけ、多様な人々や異なる文化の間に媒介者として立って活動することで、社会に貢献し、自己実現を図りたい者	5-7 5-8 6-7 6-8	1次＝書類審査・提出課題レポート・小論文 2次＝面接（面接官複数、 ①個別、②グループ提出課題レポートの内容説明含む） 最終＝CT (書類)自己推薦書、調査書等	8.10 ～ 8.14	<1次> 9.4 <2次> 9.25	9.11 10.9	(注)CTが900点満点で570点以上を最終合格者とする（発表2月5日） (注)小論文は附属学校で撮影した授業風景のビデオに基づいて与えられた課題について論述	89	29	3.1
		理工	<横濱AO入試> 建築都市・環境系-建築EP	7	全	専	浪	×	(1)建築の思想や芸術から工学まで、建築に関して幅広く学び、未だに存在しない空間や建築を都市の中に構想できるような建築家になりたい者、(2)自然災害に強く安全な建築や街づくりに貢献したいと願い、そこに集い住まう人たちの生命と財産を守ることができる建築構造エンジニアや建築構造デザイナーになりたい者、(3)自然と調和した住空間のデザインを身につけ、地球環境との均衡を保ちつつ人々の健康で快適な生活を実現できる建築環境設備エンジニアになりたい者、(4)都市の歴史の変遷や成り立ちを知り、未来社会に向けた持続可能な新しい街づくりを實踐できる都市計画プランナーや都市デザイナーになりたい者	×	1次＝書類審査・実技（造形に関する思考力・表現力の検査） 2次＝面接（口頭試問による論理的思考力・理解力・表現力の検査） (書類)自己推薦書、調査書等	9.25 ～ 10.1	<1次> 10.19 <2次> 11.20	11.4 12.8	(注)理工学部のEPは教育プログラムを示す (注)履修条件→数ⅠⅡⅢAB（または相当科目）	50	5

●入試名称 大 学 (問合せ先等)	学 部 (学群・学域)	学科・専攻 (学類)	募集人員	出 願 資 格				選 考 方 法		2016年度入試日程			備 考		2015年度入試結果		
				対象課程	出願時区分	現浪区分	成績基準	特定条件(取得資格・活動実績等) ・求める学生像等	CT 教科 科目	小論文・面接・その他 *提出書類(志願票以外)	出願期間	試験日	合格発表	合否判定評価法, 小論文・面接の内容, 新増設, その他	出願者数 (エントリー数)	合格者数	競争率
●横濱AO入試 横浜国立大学 (続)	理工	<横濱AO入試> 建築都市・環境系 ー都市基盤EP	7	全	専	浪	×	(1)自然環境との調和や共生など地球の観点にたつてより良い都市や国土の創造に興味がある者, (2)シビルエンジニアとして, 社会基盤の整備, 維持管理, 運用を通して, 都市や社会生活を豊かにしたい者, (3)発展途上国の社会基盤整備や地球規模の環境保全を通して, 国際的に活躍したい者	×	1次=書類審査 2次=口頭試問による学力・適性検査(課題に関するプレゼンテーション含む) (注)口頭試問の出題範囲→数ⅠⅡⅢAB, 物基・物 (書類)自己推薦書, 調査書等	9.25 ~ 10.1	<1次> 10.19 <2次> 11.20	11.4 12.8	(注)口頭試問→事前に作成する評価シート(自己プロフィール, 数・物の設問)に基づく	17	5	3.4
		ー海洋空間のシステムデザインEP	10					(1)環境と調和しつつ世界中を駆けめぐる, 未来型の船舶・航空機や, 斬新な海洋構造物の設計エンジニアになりたい者, (2)海洋から大気圏さらに宇宙を活躍の場とする船舶や航空機, 人工衛星の運用の最適化を通して人や物資の流れを作り, 世界を一つにすることを目指したい者	3-4	1次=書類審査 2次=面接(数・物の口頭試問含む) 最終=CT (書類)自己推薦書, 調査書等				(注)最終合格者はCTの成績を含めて決定する(発表2月6日) (注)CT→国・数(ⅠA必須)・英	38	14	2.7
		ー地球生態学EP	若干					身近な自然や, 生物多様性, 地球温暖化などに興味を持っていて, 以下のような進路をめざす者。(1)科学者や技術者, 社会のリーダーとして地域の自然環境問題の科学的な解決を目指そうとする者, (2)研究者として環境科学や関連する自然科学を発展させたり, 高等学校理科教員として自然についての知識を次世代に伝えたいと考えている者	×	1次=書類審査 2次=実習(自然や環境への興味とセンス, 思考力, 発想力, 表現力の検査) (書類)自己推薦書, 調査書等				(注)実習→実際の研究材料や資料などを調べ, 結果をまとめて発表する	9	3	3.0